

# 小又川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～小又川流域を水害から守るため、流域の関係機関が一体となって取り組む防災・減災対策～

○ 小又川水系では、昭和60年などに水害が発生しており、気候変動の影響による今後の降雨量の増大と水害の激甚化・頻発化に備えるため、集水域から氾濫域にわたる流域の関係機関が一体となって「流域治水」による防災・減災対策に取り組む。

## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、樹木伐採、堤防強化 等
- ・管理河川の浚渫
- ・砂防関係施設の整備
- ・水田の整備による治水機能の強化
- ・森林整備

## ■ 被害対象を減少させるための対策

- ・浸水リスク情報の充実（浸水想定区域図の作成） 等
- ・立地適正化計画（防災指針）の策定による水害リスクの低い地域への居住誘導や既成市街地の防災力向上 等

## ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水位計、河川監視カメラの活用・増設
- ・洪水ハザードマップの周知
- ・マイ・タイムラインの作成促進
- ・要配慮者利用施設等における避難計画の作成 等

### 水位計・河川監視カメラの活用・増設（石川県）



山王川での設置事例

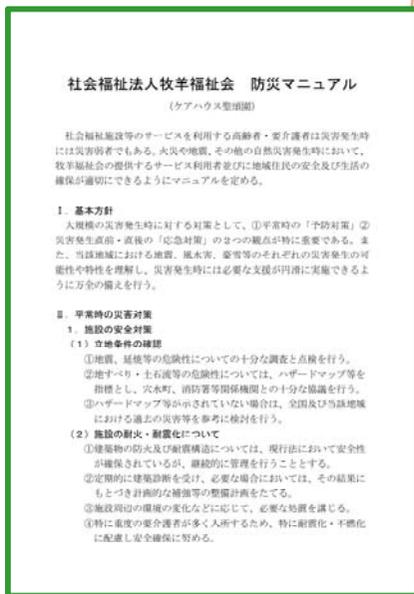
### 小又川における河道掘削、樹木伐採（石川県）



(施工前)

(施工後)

### 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施（穴水町）



#### 社会福祉法人 牧羊福祉会 防災マニュアル (ケアハウス整備部)

社会福祉施設等のサービスを利用する高齢者・要配慮者は災害発生時には災害弱者でもある。火災や地震、その他の自然災害発生時において、牧羊福祉会の提供するサービス利用者並びに地域住民の安全及び生活の確保が適切にできるようにマニュアルを定める。

#### 1. 基本方針

大規模の災害発生時に対する対策として、①平常時の「予防対策」②災害発生直前・直後の「応急対策」の2つの観点が特に重要である。また、当該地域における地震、風水害、豪雪等のそれぞれの災害発生可能性や特性を理解し、災害発生時には必要な支援が迅速に実施できるように万全の備えを行う。

#### 2. 平常時の災害対策

- 施設の安全対策
  - 立地条件の確認
    - ①地震、延焼等の危険性についての十分な調査と点検を行う。
    - ②地すべり・土石流等の危険性については、ハザードマップ等を指標とし、穴水町、消防署等関係機関との十分な協議を行う。
    - ③ハザードマップ等が示されていない場合は、全国及び当該地域における過去の災害等を参考に検討を行う。
  - 施設の耐火・耐震化について
    - ①建築物の防火及び耐震構造については、現行法において安全性が確保されているが、継続的に管理を行うこととする。
    - ②定期的に建築診断を受け、必要な場合においては、その結果にもとづき計画的な補強等の整備計画をたてる。
    - ③施設周辺の環境の変化などに応じて、必要な処置を講じる。
    - ④特に重度の要配慮者が多く入所するため、特に耐震化・不燃化に配慮し安全確保に努める。

### 石川県

- ・河道掘削、樹木伐採、堤防強化 等
- ・水田の整備による治水機能強化

- ・浸水リスク情報の充実

- ・水位計、河川監視カメラの活用・増設
- ・マイ・タイムラインの作成促進

### 穴水町

- ・管理河川の浚渫

- ・立地適正化計画の策定による水害リスクの低い地域への居住誘導や既成市街地の防災力向上

- ・洪水ハザードマップの周知
- ・マイ・タイムラインの作成促進
- ・要配慮者利用施設等における避難計画作成

### 森林整備（県、森林整備センター）

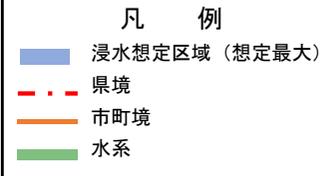
### 森林整備（県、森林整備センター）



### 砂防関係施設の整備（県）



### 【位置図】



※ ○○川 は、県管理河川の代表的な箇所（河川）を示したものである。  
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 小又川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～小又川流域を水害から守るため、流域の関係機関が一体となって取り組む防災・減災対策～

● 小又川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、関係機関が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 小又川などにおいて、河道掘削、樹木伐採、堤防強化等を実施する。また、水位周知河川以外の小規模河川について、洪水浸水想定区域図及び洪水ハザードマップを作成する。

【中長期】 短期に引き続き、河川対策、流域対策を推進し、流域全体の治水安全度を向上させる。また、洪水ハザードマップの周知やマイ・タイムラインの作成、要配慮者利用施設等における避難計画の作成・訓練実施の促進などにより、避難体制の強化を図るとともに、防災の観点を取り入れたまちづくりを推進するため、立地適正化計画(防災指針)の策定に努める。

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、樹木伐採、堤防強化 等	石川県	→	
	管理河川の浚渫	穴水町	→	
	砂防関係施設の整備	石川県	→	
	水田の整備による治水機能強化	石川県	→	
	森林整備	石川県・森林整備センター	→	
被害対象を減少させるための対策	浸水リスク情報の充実	石川県	→ <small>県：小規模河川における洪水浸水想定区域図の作成(R5出水期前)</small>	
	立地適正化計画(防災指針)の策定	穴水町	→	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計・河川監視カメラの活用・増設	石川県	→	
	被害軽減対策の実施	石川県・穴水町	→ <small>市町：小規模河川におけるハザードマップの作成</small>	

気候変動を踏まえた更なる対策を推進